

瑞岩寺報

2011.08.01
(平成23年 葉月)

【お盆号】

お盆総合案内

お盆法要

今年のお盆法要は左記の通り行なわれます。

昨年とは時間が異なります。ご注意ください。

【期日】8月7日(日)

【時間】午後4時～

【お盆の供養料】

◎先祖供養塔婆 5,000円

◎新盆供養塔婆 10,000円

【内容】檀信徒すべての精霊のお盆法要をします。

◎新盆塔婆供養

◎先祖塔婆供養

◎『般若心経』

◎御詠歌

法要後、お塔婆をお持ち帰りください。

粗品がございますので出欠席のハガキを返信ください。

お盆棚経参り

【期日】8月8日(月)～8月16日(火)

昨年より始めました各家へのお盆のお参りはお盆法要終了後から開始しま

お盆参り予定日程 ※多少変更される場合もあります	
7月13日(水)～17日(日)	東京・神奈川・埼玉南部
8月8日(月)	太田市外(群馬県外・前橋・館林地区)
8月9日(火)	太田市外(足利・桐生地区)
8月10日(水)	太田市内(太田地区)
8月11日(木)	萩原地区、その他
8月12日(金)	七日市、落内、唐沢地区
8月13日(土)	丸山、清水、反丸地区
8月14日(日)	矢田堀地区
8月15日(月)	矢田堀地区
8月16日(火)	(予備日)

【時間】〈早朝〉6:00～9:00／〈午前〉9:00～12:00／〈午後〉12:00～15:00／〈夕方〉15:00～18:00

す。副住職が早朝から夜まで約320軒の檀家さんを回りお棚経をあげます。どうしても都合の悪い場合は都合のよい日を返信ください。短い時間ですが、ご家族と一緒に参りをお願い申し上げます。

お墓そうじ

瑞岩寺にお墓のある方へのご案内です

【日時】7月31日(日) 午前6時頃から

お盆が近づいてきました。お墓のお掃除をしましょう。お盆前の一斉お墓掃除を右記のごとく行ないます。たまには早起きしてお墓掃除も気持ちいいものです。お子さんやお孫さんといっしょにどうぞ。

◆強制ではありません。この日この時間でないといけないということではありません。◆自分のお墓の掃除が終わったら通路など共有の場所のお掃除も積極的にお願いします。◆遠方の方はお寺でやっておきますのでご安心を。◆飲み物の用意、あります。

Attention!!

以下の点にご留意ください。

【お盆法要について】

◎お盆供養塔婆について、「必要」・「不要」を返信ハガキに記入してください。

◎「必要」の場合はお盆法要に「出席」・「欠席」を返信ハガキに記入してください。

◎「必要」で「欠席」の場合は、必ず8月7日以降に塔婆を受け取りに出てください。

塔婆供養料の振込みを同封します。毛里田地域の方は世話人さんにお渡しください。

塔婆を受けられる方は風呂敷などを、ご持参ください。

【市内・県内外の檀信徒の方に】

市内・県内外の方は同封の振込用紙

をお使いくください。

県外の方でお塔婆をお供えできない方は瑞岩寺でお墓にお供えいたします。ご一報ください。

【お盆参りについて】

◎お盆参りについて「必要」・「不要」をハガキに記入してください。

◎「必要」と記入されたお宅には、8月初めにお参りします。

◎「不要」ならびに「返信なし」の場合はお参りには伺いません。

「必要」だけ日時が合わない場合は、希望日をお書きください。調整いたします。

返信期日までに必ずお送りください。その結果により順番を決めお参りします。

返信葉書は7月31日必着です。

【永代供養墓・水子供養墓関係者の方へ】

永代供養墓または水子供養墓にお入りになっている方については、瑞岩寺で責任をもってお盆の供養をしておりますが、個別でのお塔婆を希望される方はお申込みください。供養料は前項にある通りです。

【ペット供養墓関係者の方へ】

ペットの合同供養は左記の通り行なわれます。

【日時】8月7日(日) 午前10時より

【お盆のペット塔婆供養料】4,000円

◆強制ではありませんので、ご供養し

いいものが沢山ありました。癒される装置をお寺はもともと備えています。

仏像を活用するのいいと思います。一般の私たちは仏像と一対一で対峙するということはありません。そういう時間を提供するか。そして、五体倒地する。身体で感じる、身体を通じて仏を感じる必要があると思います。日本の葬儀・法事では亡き人とは向き合ってもほとけさまと向き合っていない。信仰とはほとけと向き合うことです。

今、仏教界は大きく変わるチャンスが来ていると思います。

樹木葬のいいところは、代々引き継がなくてもいいという子や孫に負担を追わせないということです。自分の死後何回かは来てくれるだろう。でも、子に相談する必要もないし、その後の面倒をお願いすることもないということです。みんな自分のふるさとに帰りたいんですね。

楽しみにしております、そのうちに遊びにいかせていただきます。(終)

去る、6月4日午後1時より宗教法人 慈眼山 瑞岩寺本堂にて、NGO法人『テラ・ルネッサンス』理事 鬼丸昌也さんをお呼びしてご講演をいただきました。

鬼丸さんは1979年、福岡県生まれ。立命館大学法学部卒。高校在学中にアリヤラトネ博士（スリランカの農村開発指導者）と出逢い、『すべての人に未来をつくりだす能力（ちから）がある』と教えられます。

様々なN

総持寺、最乗寺、三溪園 感動ツアー無事終了

去る4月9日、10日の両日にて総持寺、最乗寺、三溪園ツアーを無事終了することができました。総持寺は永平寺と並ぶ曹洞宗の本山であり石原裕次郎さんのお墓などがあります。最乗寺は守護道了大薩埵は、修験道の満位の行者として世に知られる。尊者はさきの聖護院門跡覚増法親王につかえ幾多の霊験を現され、大和の金峰山、奈良大峰山、熊野三山に修行。三井寺園城寺勸学の座にあった時、大雄山開創に当り、了庵禪師のもとに参じ、土木の業に従事、約1年にしてこの大事業を完遂した。その力量は1人にして5百人に及び霊験は極めて多い。道了大薩埵は「以後山中にあって大雄山を護り多くの人々を利済する」と五大誓願文を唱えて姿を変え、天地鳴動して山中に身をかくされた。以後諸願成就の道了大薩埵と称され絶大な尊崇をあつ



総持寺山門にて



最乗寺での精進料理



三溪園にて

め、十一面観世音菩薩の御化身であるとの御信仰をいよいよ深くしています。瑞岩寺も数年前に分身をご頂戴し、ご祈禱をしております。
また、三溪園は生糸貿易により財を成した実業家「原三溪」によって、1906年（明治39）5月1日に公開され、175,000㎡に及ぶ園内には京都や鎌倉などから移築された歴史的に価値の高い建造物が巧みに配置されています。
三溪が存命中は、新進芸術家の育成と支援の場ともなり、前田青邨の「御興振り」、横山大観の「柳蔭」、下村観山の「弱法師」など近代日本画を代表する多くの作品が園内で生まれました。当日は、桜が咲きほこり素晴らしき見晴らしでみなさまに飲んでいただきましたと思います。

合掌

樹木葬墓地『木もれ陽（こもれび）』 の開眼供養終了

去る、2月26日午後1時より宗教法人 慈眼山 瑞岩寺境内にて群馬県内としては初の樹木葬墓地『木もれ陽（こもれび）』の開眼供養を参加者多数のもと執り行いました。

終了後、本堂にて説明会も併せて行いました。樹木葬は、今注目されている自然葬のひとつです。この樹木葬墓地においては、墓石等を建立せず、土に還るよう、お骨をシンボルツリーの周りの芝生の下に納骨いたします。御影石の墓碑板を設置し、刻まれる墓碑銘はご自由に決めていただくことかできます。

近年の家族のありかたの変化によ



開眼供養の様子

り、跡継ぎの心配のない、また家系や宗派にとらわれることのない供養が求められるようになっております。瑞岩寺では、墓を建てたいが、後を委ねる家族や子供がいない方にも安心していただきたいと考え、跡継ぎを必要としない永代供養墓を建立してまいりました。樹木葬墓地につきましても、お墓の承継者がいなくなった後も、基金運用によって供養、管理を続けてまいります。



説明会の様子

寺が仏事を取り戻す理由

あなたと家族と瑞岩寺が協働してつくるお葬式

あなたとあなたの大切な人の「最後の儀式」を

瑞岩寺は責任を持ってサポートします

かつて仏教は、生老病死という

「苦」の荒波を乗り越えるための妙薬として人々の心の支えとなっていました。しかし、「このころの時代」が叫ばれる今日、その伝統仏教教団は「葬式仏教」と揶揄されています。そして、そのお葬式さえもが、寺から離れたものになっていこうとしています。

瑞岩寺は、そのような現代社会にあつて、お葬式の意味と寺の役割について、あらためて考えていきたいと思っています。

人には必ず死が訪れます。そこには悲しく、苦しく、つらい別れが待っています。それはいのちを持つものが必ず通らねばならない道です。

その死を迎えるまでに、あなたがしなければならぬこと、そして死を迎えたとき家族がすること……訪れる別れをきちんと、納得できるように行うことが大切です。

そういう意味で、別れの儀式であるお葬式は大切です。だからこそ、その大切なお葬式を人任せにするのではなく、あなた自身と家族が主役となるようサポートして行



本堂葬の様子

きたいと、瑞岩寺は考えています。

あなたの人生がしっかりと反映されるお葬式であり、残された人々が「精一杯見送れた」と納得できるお葬式。瑞岩寺はこのことを最優先に考え、あなたらしいお葬式を責任持って行います。

お葬式で大切なのは、お金をかけることではありません。また、形式にこだわったり、慣習に縛られたりする必要もありません。

高価な仏壇や墓石も日本のデフレ経済のなかでは檀信徒の大きな負担になっています。そこで、瑞岩寺では、新規に「葬祭部」を立ち上げました。

納得のいくお葬式は、あなた本人と家族、そして寺の三者が協働意識を持ち、互いに合意形成することで実現するのだと思います。

「死すべきいのち」を持つあなたが、やっておかなければならぬ事は何か、ということについても考えていただきたいと思っています。

「あなたらしい旅立ち」に対して、瑞岩寺は最大限の支援と協力をいたします。

— 頼りになる寺でありたい —

瑞岩寺ができること

おおかたの人生は、生・老・病・死というプロセスをたどります。そして、それらには「苦しみ」が付きます。生苦、老苦、病苦、死苦、、、、

これを仏教では「四苦」と言い、日本仏教は、その時々に応じて、四苦を和らげ、解決することを使命としてきました。しかし、この時代、仏教が四苦と向き合い、それを緩和し、解決する具体的な場面や道筋は、なかなか見えません。

加齢に伴う老苦・病苦の現場は、さまざまな問題を生み出しています。

そして、その先には、誰もが、平等に、死苦に直面するという現実が訪れるのです。人生の最後に訪れる死は、膨大な悲しみや苦しみ、痛みとともにやってきます。そして、それはあなた自身が対面しなければならぬ一人称の死であり、あなた自身の問題となります。しかし、それらへの対応は、なかなかできないのが現状です。

瑞岩寺は、四苦の存在、生苦・老苦、死苦における多様な問題、容易ではない死苦の受容などについて、深い関心を持っています。そしてそのためのシステム作りを少しずつですが整えています。瑞岩寺の檀信徒を中心とした地域の人々を対象に、ひとりひとり

の生老病死に寄り添い、四苦と向き合いながら、生きる方法を探り、実践することです。

そのために人生相談、悩み相談、寺子屋講座、座禅、写経、講演会、観音巡拝、旅行、本山研修、寺子屋ライブ、葬儀・墓石仏壇の請負、などをできるかぎり行っています。是非、なにかお困りのときはお寺にご一報ください。

- 寺院が仏事供養全般を網羅することによって檀信徒の経済的負担を軽減します。
- 寺院の経済的運営に寄与し高額な寄附の要請をしなくても済むようになります。
- 宗教行事は、あくまでも自発的なお布施（浄財）を軸に運営していきます。
- 本堂で葬儀を行なうことで形式にはまらない、個性的で温かな雰囲気の中、コストを抑えた葬儀を提供します。
- 墓石や仏壇を寺院が請け負うことにより同じ予算でより満足度の高い高品質の仏具を提供します。

住職 合掌
長谷川昭雄

住職日記 『3.11!!』



『ゴッターノ』という低い地鳴りと共に鉄筋コンクリートの保育園舎が『ミシッノミシッノ』という今までに聞いた事もない音を発した。寺の灯籠、墓石は崩落し、泣き叫ぶ園児、職員は止まり、テレビもダメ。ラジオからの情報は、東北のすさまじい津波被害と原発の非常事態を伝えていた。

新聞、ネット、YouTubeで壮絶な現地の映像や情報を集めた。肉親を目の前で失った人。幼稚園の帰宅バス内で集まるように亡くなった園児たち。職員の中でも東北の親戚を亡くし早退する者も出た。人ごとではない。連日目頭が熱くなった。

え、すぐに寺での被災者の受け入れ、義援金箱の設置、社会福祉協議会へのボランティアの申請を行い、同時に被災孤児もお寺で受け入れる用意があることを震災地に伝えた。

卒園式が終了した4月28日から数日間、弟子と息子を連れて南三陸町にボランティアに入った。改めて見る被災地の現場の広大さと波の破壊力に立ちすくんだ。寺の本堂に突き刺さる大型バス。3階建てのマンションの上にバラス良く乗る船。「南三陸駅」とだけ書かれた看板、もうそこに駅も線路も何もなくあった。私は戦争を知らないが、「原爆が落ちたような、」という表現しかできない惨状が広がっていた。

これほどの体験をした現地の人は生きていくこと自体が奇跡だと思えるだろう。「有り難い」の反対は「当たり前」。多くの日本人が「当たり前」の今を感謝するようになった気がする。家族や地域の人のつながり、絆を大切にできるように思える。世界の震災の1割は日本が起こると言われる。でも、それを毎回この日本は克服してきた。帰りの車の中で息子の背中が少し大きくなったような気がした。

瑞岩寺副住職

長谷川俊道

合掌

お知らせ

◆『あんのん墓苑』

『樹木葬(木もれ陽)』完成

昨年度、墓地の不足と新しい墓地の形を考えて瑞岩寺墓地南側に『あんのん墓苑』が完成しました。この墓地の特徴は左記のとおりです。群馬県では瑞岩寺だけの仕様になります。

【一般墓地区画】

●宗派は一切問いません。

●お寺からの寄付の要求はしません。

【With ペット墓地区画】

●ペットと入れる墓地です。

【永代供養墓地区画】

●先祖供養の継承ができなくなった場合、瑞岩寺が続く限り責任をもつて(永代)供養します。

●生前契約ができます。葬儀の方法や埋葬法に問題意識を持ち、自分の死後は自分で決定したいという方のための墓地です。

●墓地が遠隔地になるので整理したい、分家したのでお墓がない、墓地建設に莫大なお金をかけたくない、身寄りのないお骨を預かってるなど。

●普通の墓地としても使用できる画期的な墓地です。

◆墓参の際のお願い

墓参の際、墓前にお供えのお供物はカラスや犬猫などが食荒らし汚れます。佛様は香りとお気持ちのみ頂きますので、お参りが済みましたらお持帰り下さるようお願い申し上げます。お団子もできましたら下にアルミホイ

を敷いていただと掃除がしやすく衛生的です。また、古い塔婆はゴミ箱に捨ててはいけません。お寺でお炊き上げをしますので寺務所へお持ち下さい。

◇悩み事・困り事の相談

悩み事・困り事の相談は無料です。必ず電話(三七一一二二二)にて予約してお越し下さい。相談の内容が外部に漏洩することはありません。相談時間は午前9時から午後7時まで。夜間・深夜の相談は受けません。

◇厄年厄除、家内安全、商売繁昌、身体健康、学業成就、安産守護、家族祈願、自動車祈願

法要は、毎日十二時よりお参りできます。ご供養、ご祈願、ペット供養、水子供養は、電話、ファックス、電子メールなどでお願ひできます。

すべての人に佛さまの智慧と慈悲を

慈眼山 瑞岩寺

宗教法人

群馬県太田市矢田堀町388

TEL:0276-37-1231/FAX: 0276-37-1729

E-mail:info@zuiganji.com

Website:http://www.zuiganji.com

i-mode:http://www.zuiganji.com/i/

◇御意見、御要望はいつでもお知らせ下さい。

◇お身体をお大切に、お健やかにお暮らしく下さいませ。

◆み仏さまの御加護を心からお祈りいたします。 合掌